

未来探究科学部 デジタル構想学科

(仮称、設置構想中)

君が、デジタルの力で、日本・東北を変える。

東北学院大学は、1886(明治19)年に「仙台神学校」として創設され、「東北学院」の建学の精神である、福音主義キリスト教の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育に則り、地域社会の発展に寄与する教育を担い続けてきました。現在9学部15学科を擁する、東北地方で最大の私立総合大学です。未来探究科学部デジタル構想学科は、デジタルテクノロジーを活用して、防災・減災、一次産業、少子高齢化といった日本および東北が直面している社会課題の解決をめざします。

身につけるチカラ	豊かな人間性と正しい倫理観、創造性	デジタルテクノロジーを活用した社会課題の解決策を構想し、検証・改善できる資質・能力	多様な背景をもつ関係者と共にプロジェクトを運営・推進する資質・能力
養成する人材像	キリスト教に基づく人格教育を通して、最先端のデジタルテクノロジーの技法と、そのテクノロジーを駆使した社会課題の解決方法を実装するためのマネジメント技法の両面を備えた人材を養成します。		

入学定員：110名

特色 1

地域課題起点の学び

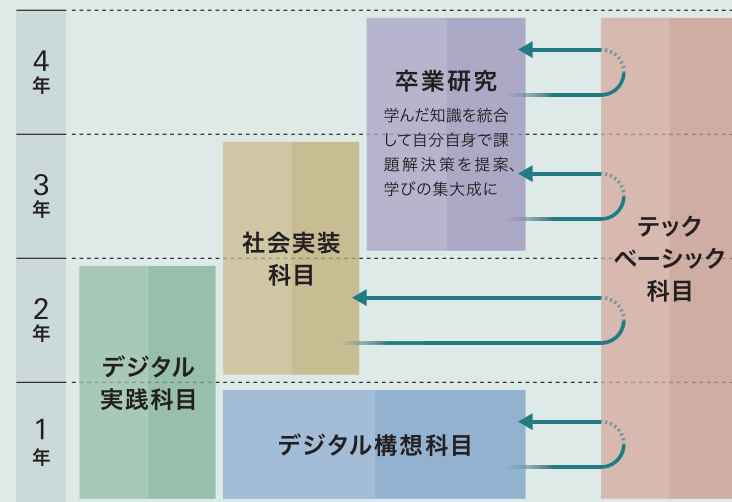
地域の課題に興味を持ち、デジタル技術を用いてそれを解決したいという強い気持ちを持つ理系学生や数理分野に興味のある文系学生を歓迎します。

特色 2

“デジタル技術×社会実装” 2刀流のカリキュラム

デジタル技術の習得や課題解決スキルを実践形式で身につけ、理数系の基礎からデジタル技術の基盤までを学ぶ導入科目(テックベーシック科目)を備えた充実したカリキュラムが特徴です。

■カリキュラム構成



デジタル構想科目

デジタル実践科目

社会実装科目

テックベーシック科目

社会の課題を知り、解決のヒントを探ろう！

日本や東北地方が抱える「少子高齢化」や「産業の衰退」などの課題に対して、デジタル技術がどのように活用されているのかを探究します。

デジタル技術を実際に使って、身につけよう！

AIやIoT、VRなどのデジタル技術を実際に試しながら、「PBL(プロジェクトベースラーニング)」という方法で実践的なスキルを身につけます。

自分たちのアイデアを社会で活かそう！

自分たちが考えたプロジェクトを社会で役立てるためにはどうすれば良いかを学びます。グループごとに目標を設定し、実際に試してみます。

デジタルの基礎をしっかりと学ぼう！

数学や物理の基礎、プログラミングの入門からAIやICTなどの専門的な学びも用意しています。学年を問わず必要に応じて履修することができます。

いま、日本、そして東北にはどんな課題があるのだろうか？

■社会の課題

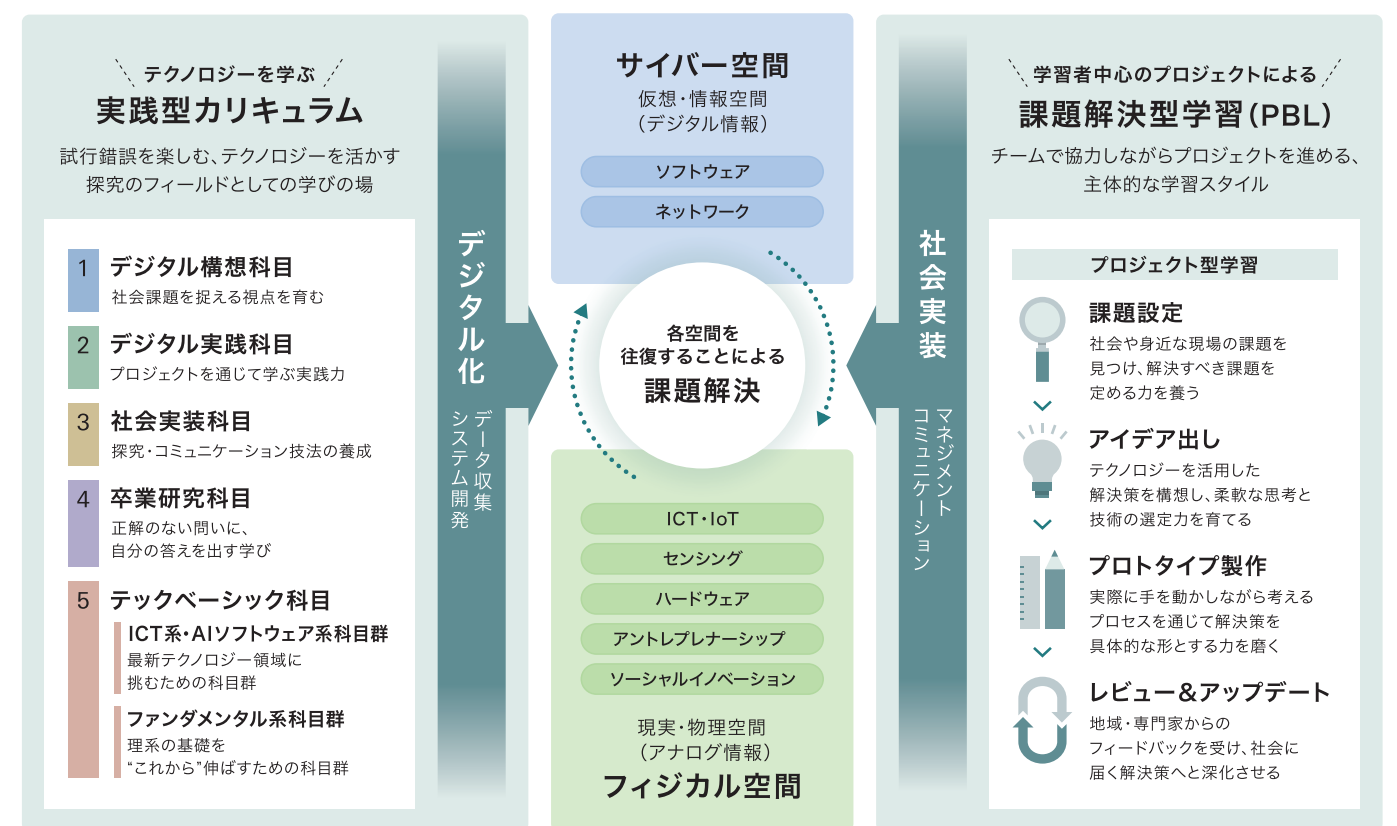


デジタルテクノロジーを駆使して、社会課題の解決と新たな価値の創造をめざす

そのための学びが、未来探究科学部デジタル構想学科にはあります！



■学びのイメージ



■学びの先に広がるキャリア像

取得可能な資格

- 第一級陸上特殊無線技士
- 第三級海上特殊無線技士
- 第二種電気工事士(学科科目免除)
- 電気通信の工事担任者(一部科目免除)

想定される進路

- 情報・通信業、製造業、システムエンジニア、デジタルインフラ
- 起業家、コンサルタント、公務員、NPO職員
- 大学院進学

※設置計画は予定であり、計画内容は変更されることがあります。